

報告と対話のつどい



森本義征
会派代表
議会選出監査



清原哲史
総務委員長



奴間健司
議運委員長

2022年・令和4年7月2日17時30分～19時
福岡県古賀市議会
会派・友和(ゆうわ)

今回はZOOMで視聴できます。
ID 815 0323 2335
パスコード 397437

プログラム

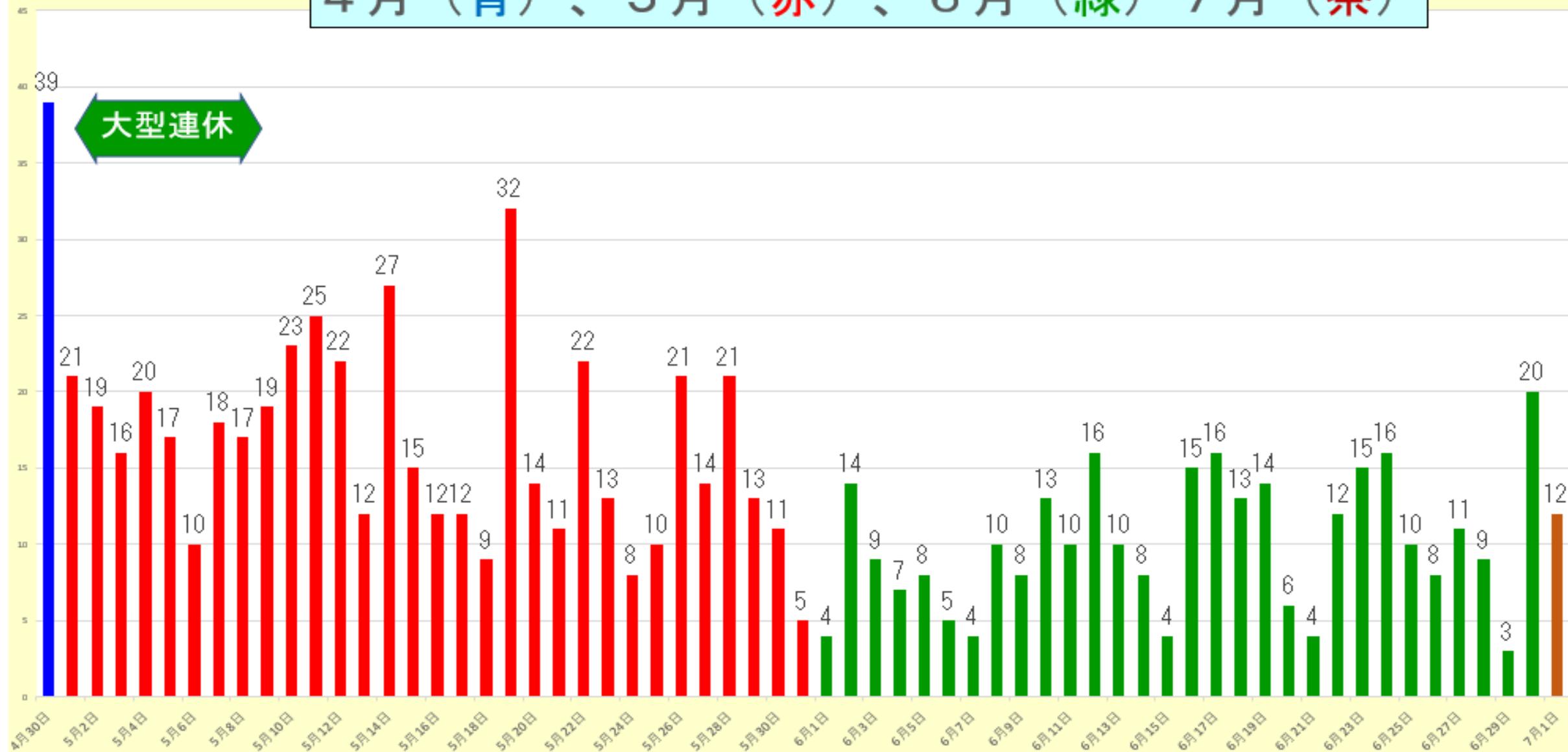
次 第	担 当
1 主催者あいさつ	森本義征
2 各議員あいさつ	森本義征 清原哲史 奴間健司
3 報告① 新型コロナ、補正予算、千鳥苑	奴間健司
報告② AIオンデマンドバス、薬王寺・快生館	清原哲史
報告③ 古賀駅東口、西口	森本義征
4 質疑応答、対話	
5 お礼のあいさつ	清原哲史

新型コロナウイルス感染症

4回目ワクチン接種開始

古賀市・新型コロナ陽性確認人数の推移

4月（青）、5月（赤）、6月（緑）7月（茶）



4回目ワクチン接種 6月27日から接種開始

4回目は60歳以上と
18歳以上60歳未満で
基礎疾患のある人等

古賀市・新型コロナワクチン4回目接種の実施について

6月9日時点・古賀市健康介護課発表

対象者	3回目接種を終えてから5か月以上経過した人で ①60歳以上の人 ②18歳以上60歳未満で基礎疾患のある人、その他新型コロナにかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める人
ワクチン費用	・ファイザー社ワクチン又はモデルナ社ワクチン ・接種費用は無料
接種体制	①個別医療機関（市内の約20の医療機関） ②集団接種（サンコスモ古賀）※今回は福岡東医療センターはありません
接種時期	①5月下旬より、医療従事者で60歳以上または基礎疾患等の人 ②6月27日から60歳以上の人 ※①と②は医療機関にて実施（月～土曜） ③7月3日よりサンコスモ古賀において実施予定（日曜・祝日）
予約方法	電話予約（コールセンター）、インターネット予約、おまかせ予約
接種券送付	①5月30日から3回目接種から5か月経過する対象者に順次送付 ②6月1日、おまかせ予約希望調査を対象者へ送付 ③18歳以上60歳未満の基礎疾患等の人で、令和3年6月～7月に基礎疾患等の申請をしていない人は接種券交付申請が必要（対象者には3回目接種から一定期間が経過後、申請案内を随時送付）
移動手段	①集団接種：JR古賀駅・サンコスモ古賀間の無料シャトルバス運行 ②避難行動要支援者へのタクシー利用助成（初乗り運賃分）
3回目接種実績	34,134人（総数） 接種率① 63.4%（対象年齢人口比） 接種率② 57.4%（全人口比） 14,552人（65歳以上）接種率89.4%（65歳以上人口比）

※詳細は古賀市のホームページを参照してください

補正予算

6億5100万9千円の増額

古賀市一般会計補正予算（第1号） 6月16日に委員会可決 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 9650万円 児童扶養手当受給者に一人当たり5万円を給付	
経過	<ul style="list-style-type: none"> ●4月28日に国から概要提示 ●5月24日に国から正式に交付要綱提示 ●5月27日三役査定で決定
財源	民生費国庫補助金
給付金の内訳	①児童扶養手当受給者等 5万円×1,130人 ②①以外の令和4年度分住民税非課税の子育て世帯 5万円×800人
給付までのスケジュール	(1) 児童扶養手当受給者等 ①令和4年度4月分の児童扶養手当受給者（申請不要） 6月9日に支給案内送付、6月30日支給予定 ②①以外の家計急変者等（要申請） 申請受付後順次支給予定 (2) (1) 以外の令和4年度分住民税非課税の子育て世帯 ①令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当受給者 （申請不要） 6月下旬に支給案内、7月中中に支給予定 ②①以外の家計急変者等（要申請） 申請受付後順次支給予定
事務費	<ul style="list-style-type: none"> ●6月中の支給を実現するため予備費による事務費執行 支給案内郵送 37,366円 システム改修委託 143万円

児童扶養
手当受給者に
一人当たり
5万円給付

6月30日に
振り込み

運送事業者にガソリン代支援 1リットル当たり10円

古賀市一般会計補正予算（第1号） 6月16日に委員会可決
 燃料費高騰対策運送事業者等支援金 1億7800万円
 運送事業者にガソリン代の一部支援

経過	<ul style="list-style-type: none"> ●4月26日に政府が緊急対策として発表 ●5月10日起案、5月27日三役査定で決定
支援金の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ●トラック・運送事業、タクシー・介護タクシー事業、貸切バス、自動車運転代行業が登録した車両約3,000台の燃料費4か月分に対し、1リットル当たり10円を支援 ●対象期間は2021年10月から2022年7月までの間の任意の4か月間
財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
申請方法 期間	<ul style="list-style-type: none"> ●市公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、証拠書類を添付して提出 ●2022年7月から9月末日まで
対象事業者数	最大で約300事業者を見込む
議員からの 意見	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針で触れるべきだった。唐突である。 ●運送事業者の実態把握をすべき。客観的裏付け必要。 ●市長は運送業者支援が重要局面であり市民生活を守ることになるというが、効果検証の方法があいまい ●4月26日の国の緊急対策発表を受けた補正予算である

妊産婦に タクシー券2万円分

古賀市一般会計補正予算（第1号） 6月16日に委員会可決
 妊産婦タクシー利用促進事業補助金 1040万円
 妊産婦にタクシー券2万円分を配布

経過	<ul style="list-style-type: none"> ●4月13日に九州運輸局長から通知 ●4月20日起案、5月27日三役査定で決定
財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
支援金の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦（680人想定）にタクシー券2万円分（500円×40枚）を配布。配布時期は2022年8月1日から2023年1月31日までを予定 ●タクシーチケットの有効期間は2022年8月1日から2023年2月28日まで。タクシーは古賀市内事業者
対象	古賀市に住民登録があり、次のいずれかに該当する人 ①2022年4月1日から2023年1月31日までに妊娠の届出をした妊婦、又は古賀市に転入の届出をした妊婦 ②2022年4月1日から2023年1月31日までに出産した産婦
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年7月1日までに妊娠の届出をした妊婦及び出産した産婦には申請書類を郵送。その書類を提出 ●その他の場合は妊娠の届出手続きの際に申請書を提出
質疑で 判明したこと	<ul style="list-style-type: none"> ●タクシー事業者支援がメインであること ●タクシー券の利用に制限はない。たとえば、妊産婦が家族に買い物を依頼し、家族がタクシー券を利用することも可能（利用できるタクシーは古賀市内事業者限定）

古賀市
事業者支援
第6弾

燃料費高騰対策運送 事業者等支援金

市内に本社、支社、営業所を有する道路運送事業者等が令和3年10月から令和4年7月までの10か月間のうちいずれか最大4か月において、対象車両の運行のために購入した燃料の合計に対して1リットルあたり10円を支給します。

【交付対象要件】

市内で下記の要件に該当する事業を営む中小企業者または個人事業主

【交付対象事業】	【交付対象車両】
①貨物自動車運送事業 (トラック運送事業)	左記①～③の事業者が事業に要する車両で下記のいずれも満たす車両
②一般乗用旅客自動車運送事業 (タクシー・介護タクシー事業)	(ア) 車検証の「自家用・事業用の別」の欄に「事業用」と記載がある車両(緑・黒ナンバー)
③一般貸切旅客自動車運送事業 (貸切バス事業)	(イ) 車検証の「使用の本拠の位置」の欄に古賀市内の住所が記載されている車両
④自動車運転代行業	上記(イ)に加え、公安委員会から認定を受けた随伴用車両

【申請期間】

令和4年7月1日～
令和4年9月30日
17:00必着

【支給額】

燃料購入量(ℓ)×10円
※上限額あり。
※詳細は市ホームページを参照。

必要書類

①～④の対象事業別に申請時の必要書類が異なります。下記表を参照の上、もれなく提出をお願いします。また、必要に応じて他に資料の提出を求められることがあります。

必要書類		① トラック 運送事業	② タクシー 介護タク シー	③ 貸切バス	④ 自動車運転 代行
1	提出時チェックリスト	○	○	○	○
2	古賀市燃料費高騰対策運送事業者等支援金交付申請書兼実績報告書(様式第1号)	○	○	○	○
3	燃料購入記録簿	○	○	○	○
4	購入した燃料に関する領収書等(購入量、種別、購入日)がわかるもの	○	○	○	○
5	運輸局からの自動車運送事業の許可書(軽運送は届出書)または証明書(証明願)の写し	○	○	○	—
	公安委員会からの運転代行業の認定書の写し	—	—	—	○
6	対象車両全ての車検証の写し ※「使用の本拠の位置」が古賀市内であること	○	○	○	○
7	対象車両全ての写真(ナンバーが確認できること) ※自動車運転代行業は車体に掲示する認定番号等が写っているもの	○	○	○	○
8	直近の確定申告書の写し	○	○	○	○
9	本人確認書類(個人事業主のみ) ※免許証、健康保険証等の写し	○	○	○	○
10	市税に滞納のない証明書	○	○	○	○

※詳細については、古賀市ホームページをご確認ください。

※ここに記載のあることのほか、「古賀市燃料費高騰対策運送事業者等支援金交付要綱」に定める内容に基づき支援します。

※提出された書類は公的機関へ照会することがあります。

※Q&Aについては、古賀市ホームページで随時更新予定です。申請時に最新のQ&Aをご確認ください。

【問い合わせ先】古賀市役所 商工政策課 商業観光係 西村・榎(だん)

電話：092-942-1176 メール：shoukou@city.koga.fukuoka.jp

市民討議会を5回開催

古賀市一般会計補正予算（第1号） 6月16日に委員会可決
ブランクスツェレ（市民討議会） 94万7千円
ワークショップを5回開催

経過	●4月20日起案、5月27日三役査定で決定
財源	一般財源
開催計画	●5回開催（1回あたり3時間程度） ●参加予定人数は30人程度。無作為抽出で選定、18歳以上（全5回のうち1回は公募） ●ファシリテーターは経営戦略課の職員 ●参加謝礼は1回あたり5千円
効果予測	●まちづくりに関わった経験や市に対して意見を述べる機会が少なかった市民、特に若い世代の意見を抽出することで、幅広い世代で創りあげるまちづくりの実現に寄与するものとする
意見	●総合計画策定過程の足らざるものを補うという取り組みとして評価 ●策定済みの基本構想を超える多様な意見も受け入れ反映させる姿勢が必要。場合によっては基本構想を修正することも選択肢。（修正も議会の議決があれば可能）

一般質問での答弁

- 今年から行政評価を**政策検証**と称した**制度に変更し**、行政経営システムの再構築を行いながら、より深い分析を行うこととしている。
- その手段のひとつとして、**施策の満足度や重要度を図るアンケート調査や市民討議会、総合政策検証会議**などを活用する。

千鳥苑

存続要望の署名開始

千鳥苑

年間4万人から5万人の利用者

千鳥苑・利用者総数と室利用団体数



高齢者の居場所

コミュニティの場

こどもの利用

送迎バスの活用

避難所の役割

包括支援モデル
共生社会の拠点

千鳥苑に関するお金の話し

指定管理料 2019年～2023年	2684万円/年（市→社会福祉協議会） （2019年：38円/人・月）
工事費 （10万円以上、市負担）	2021年 180万円 2018年 1200万円（空調更新） 2017年 200万円（防水工事） 2014年 1000万円（耐震工事、LED）
利用料金（入館料150円、各部屋の利用料）	2020年 330万円（2万7千人） 2019年 520万円（4万7千人）
公共施設総合管理計画におけるコスト（国が示すソフトによる試算）	建替 1, 546㎡×36万円/㎡=5億5,656万円 大規模改修 1, 546㎡×20万円/㎡=3億920万円

公共施設等総合管理計画【第1期アクションプラン】

2014年4月
総務大臣通知・策定要請

2060年までの40年間に総延べ床面積を約2割圧縮
コスト面では約54億7千万円の削減

2017年3月策定

第1期アクションプラン:2021年度～2030年度

2021年8月原案

2022年1月決定

施設名	面積 m ²	機能	建物	備考
市民体育館				
クロスハ				
米多比児童館				
あすなろ教				
市民活動			廃止を検討	
千鳥苑	1546	移転を検討	廃止を検討	2022年度に築45年

3.46%

計画期間内に、
関係団体と協議を行い、
施設の方向性について
明らかにする

千鳥苑等の「移転・廃止」

田辺市長の答弁

(2月25日の本会議)

「廃止」を検討する施設を
挙げたのであり、「廃止」
を決定した事実はない

6月定例会での答弁

- **千鳥苑**については、令和5年度末までの指定管理期間として運営していたが、さらに令和10年度までの5年間、現施設において指定管理を行う方針を決定したことから、次期指定管理期間を終える令和10年度末までに、その後のあり方について検討しお示しする。
- **市民体育館**については、公共施設等総合管理計画第1期アクションプランの計画期間中（2030年）にお示しする。

結論を先延ばししただけ。延べ床面積の20%削減、移転・廃止』そのもの見直しを検討すべき」

田辺市長のブログ

●千鳥苑について、令和10(2028)年度まで現在の施設での指定管理を継続する方針を決定した。少なくとも今後7年間は、今の場所で高齢者福祉などのサービスを提供する。

●機能維持を前提として、令和10(2028)年度末までに、他の公共施設への移転、民間施設の賃借や民間移譲などの民間活力を使った手法なども含めて詳細に検討を進め、結論を得る。

公共施設等適正管理推進事業債 2022年度から2026年度まで延長

対象事業	充当率	交付税措置
建築物: 延べ床面積の減少を伴う集約化・複合化事業 非建築物: 維持管理費等が減少すると思われる集約化・複合化事業	90%	50%
公共用建物: 施設の耐用年数を法定耐用年数を超えて延長させる事業		財政力に応じて 30~50%
転用事業: 他用途変転用事業		
コンパクトシティ形成に向けた長期的まちづくりの視点に基づく事業		
公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業		
地球温暖化対策計画において、地方団体が率先的に取り組む事業 太陽光発電の導入、ZEBの実現、省エネ改修、LED照明の導入		
公共施設の除却を行う事業		—

署名運動に
ご協力お願いいたします

署名用紙をお持ち帰りください

期間は8月20日まで

署名が集まったらご連絡ください

090-3664-1674

10月から開放 中学校の体育館等

第36号議案の参考資料

古賀市立学校体育施設開放の管理運営に関する条例改正

日曜日に新たに開放

平日、体育館の開放時間を1時間繰り上げ

現在の開放状況

	古賀中	古賀北中	古賀東中
体育館	月～土曜 20:00～22:00	月～土曜 20:00～22:00	月～土曜 19:00～22:00



改正後の予定・2022年10月1日から

	古賀中	古賀北中	古賀東中
体育館	月～土曜 19:00～22:00 日曜 8:30～22:00		
運動場	日曜 8:30～22:00		
武道場	(市立武道場)	日曜 8:30～22:00	
テニスコート	日曜 8:30～22:00		なし
野球場	日曜 8:30～22:00	なし	なし

AIオンデマンドバス

10月に実証運行

AIオンデマンドバス

2021年4月 宗像市日の里地区で乗車体験



AIオンデマンドバスにかかる予算

2021年12月定例会
補正予算

1710万円

バス3台購入費

2022年3月定例会
当初予算

3306万9千円

運行委託 1286万6千円

運行支援委託 2020万3千円

エリア内150円、エリア外300円
エリアは花鶴丘、日吉台、ししづ
AIオンデマンドバス 10月実証運行

1) 運行計画 (案)

	内容
運行目的	公共交通不便地域への補完交通
運行エリア	花鶴丘1～3丁目、日吉台、ししづ、美明（次頁参照） ※運行エリア外にも特定の場所にミーティングポイント（乗降場所）を設定
運行形態	区域運行（ミーティングポイント型）
運行時間帯	平日：7：00～20：00、土日祝：8：00～18：00
利用方法	予約制
運賃	大人 運行エリア内 150円 運行エリア外 300円 小人料金：エリア内80円、エリア外150円（小学生まで適用） 身体障害者手帳、精神障害福祉手帳、療育手帳所有者：エリア内80円、エリア外150円
決済	現地決済：現金、ICカード
車両	2台（定員8名）

1) 運行計画 (案)

運行エリア、ミーティングポイント
(乗降場所) の案

- 運行エリア内ミーティングポイント
- 運行エリア外ミーティングポイント



エリア内の
ミーティングポイント
30か所
エリア外の
ミーティングポイント
6か所

※乗降場所は道路管理者との協議等を踏まえ確定する

薬王寺「快生館」

予算累計

2億1085万6千円

管理運営委託

SALT

5年間

1億2897万円

入居者・利用者

賃貸借契約

(株)快生館

古賀市
田辺市長

サテライトオフィス等
誘致促進委託

3年間

4575万円

進出企業定着
地域活性化支援委託

1年間

3000万円

あわえ

SALT・あわえ
他2社

● 2021年9月1日～
2026年3月31日
● 家賃計1920万円

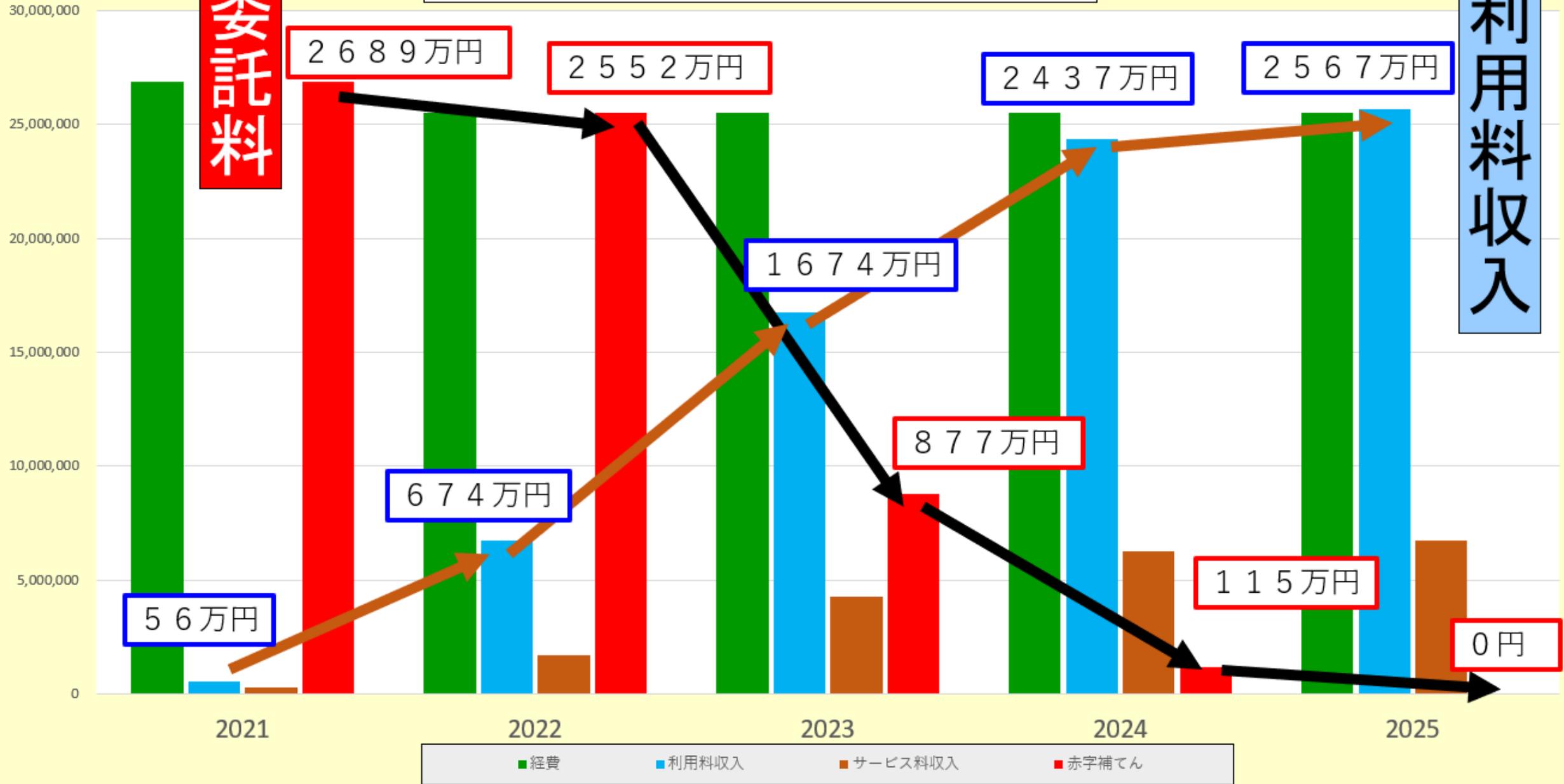
1期工事 5000万円
2期工事 3500万円

薬王寺「快生館」これまでの予算額

年度	予算額	財源
2020	5,221万8千円	国
2021	8,543万7千円	国
2022	7,320万1千円	国 一部市
合計	2億1,085万6千円	550万円

薬王寺「快生館」収支見込 (株)SALT作成

2022年5月9日議会提出



古賀市と(株)快生館の建物賃貸借契約

賃借人は、賃貸者人に対して、
原状回復義務を負わず、
明け渡し時の現状有姿で明け渡す

賃借人は、明渡しに際して、
有益費償還請求権は放棄する

将来必要なことだから2億円超す
税金をつぎ込み、有益費を一株式会
社に明けわすのは国も認めている」

古賀駅

西口、東口開発

古賀駅西口エリア活性化事業のイメージ

① 活性化ビジョンの作成

- 市民、関係者などから組織されたチームが中心となり、古賀駅西口エリアの将来像を描く活性化ビジョンを作成

② 活性化ビジョンの実行のための準備

- ビジョンを実行するために必要なまちづくりを担う組織づくり
- まちづくり団体などの活動拠点づくり

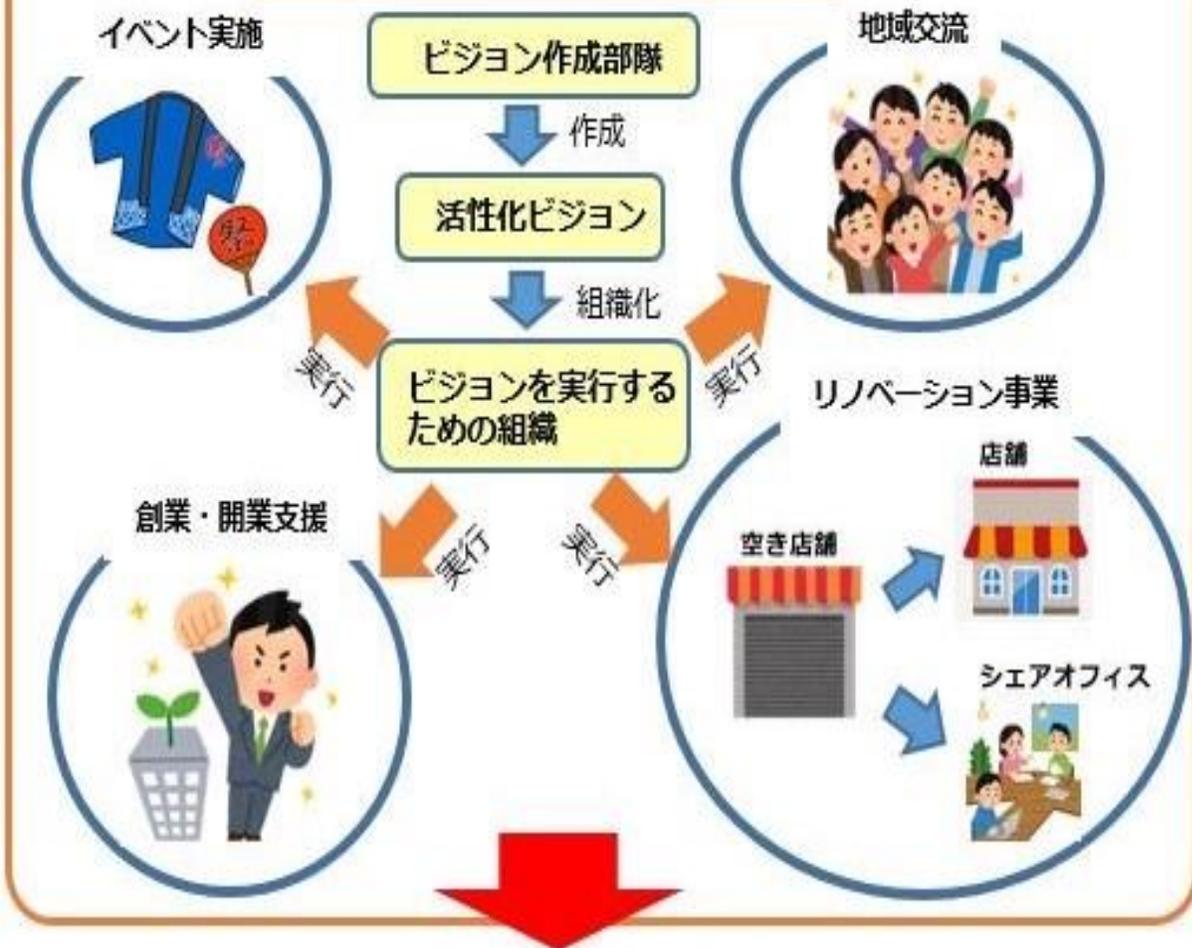
③ 活性化ビジョンの実行

- イベントの企画、情報発信など
- 西口エリアへの新規出店、進出・活動しようとする店舗、団体への支援

④ 持続的な活動のための仕組みづくり

- 活動を持続させるための収益事業展開
- 東口エリアの開発に合わせた中心市街地活性化の取組等

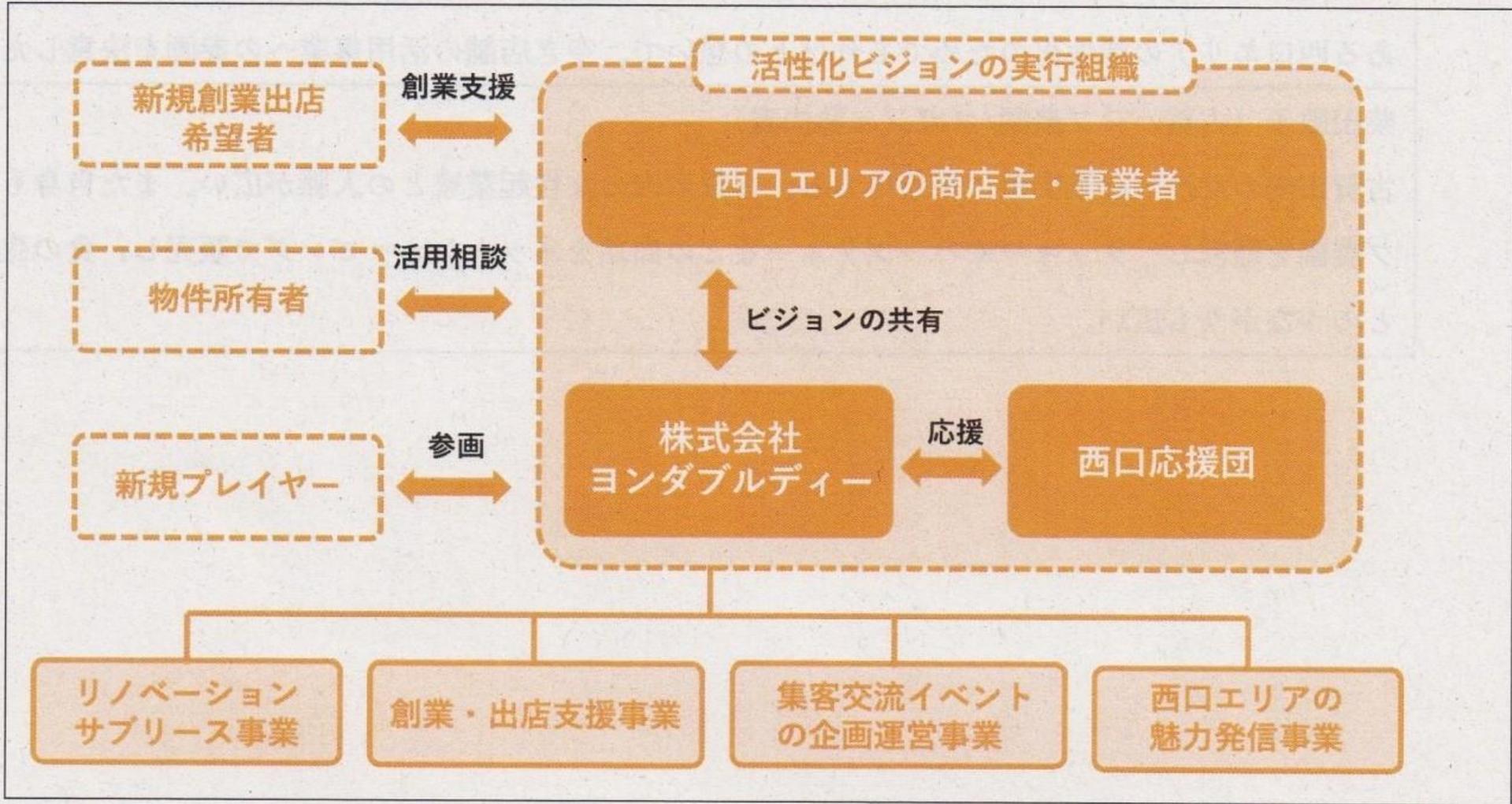
ビジョン実行のイメージ



エリア価値の向上

古賀駅西口活性化の実行体制

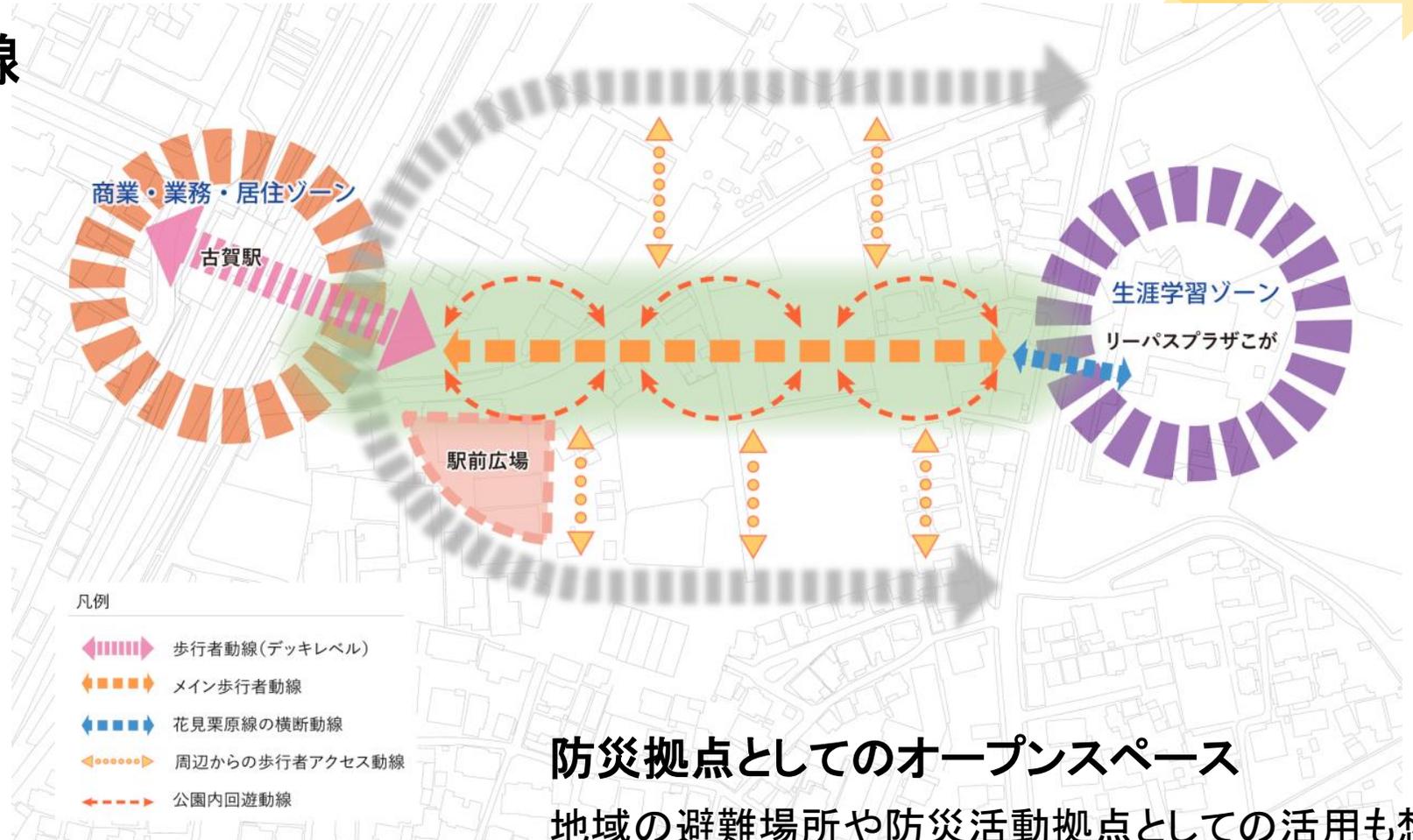
<実行体制>



整備基本計画

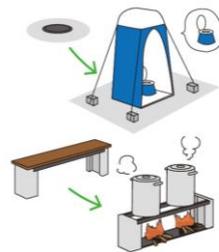
回遊性を高める歩行者動線

メインの歩行者動線は、駅から生涯学習ゾーンへと人々を導く接続性を与えます。また、隣接敷地からも公園にアクセスできる敷地内歩行者通路の設置を誘導します。あわせて公園と生涯学習ゾーンの間を横切る花見栗原線の円滑な渡り方を検討していきます。公園内の動線は機能配置と合わせ、「歩くこと」を誘発する動線計画とします。



防災拠点としてのオープンスペース

地域の避難場所や防災活動拠点としての活用も想定し、十分な広さを確保するとともに、マンホールトイレやかまどベンチなどの防災設備や、備蓄倉庫の設置などによる防災機能の強化を図る計画とします



古賀駅東口

整備基本計画

商業・業務・居住

賑わい・サービス

憩い・子育て

交流・学び

生涯学習

整備基本計画

1. 公園

『歩きたくなる 暮らしたくなる 居心地の良い まちづくり』を体現するために、古賀駅周辺の新たな魅力づくりの核となる都市公園を整備します。

公園の整備により、古賀市の中心市街地における公園不足を解消するとともに、「古賀駅」から「生涯学習ゾーン」へ安全かつ快適に歩いてアクセスできる環境を構築します。また、既存樹木を積極的に保存・活用し、自然を感じる憩いの公園づくりを推進します。

(1) 場所の特性に応じたゾーニング

東西に長い特性を考慮し、単調な印象の空間とならないように、隣接地や周辺の市街地特性に応じたゾーニングを行います。また、ゾーニングごとに主な利用者や、発生するアクティビティを想定し、多様な利活用を可能とする電気、給排水等の設備をあらかじめ設けるほか、植栽、舗装等に変化をつけることで、非日常の賑わいの場から日常の憩いの場を演出します。



●賑わいエリアのイメージ

- ・日常使いで一息つける場所
- ・多目的なイベントに対応できる空間
- ・駅周辺の店舗との一体的な利用



スポーツ観戦イベントと舞台



周辺住民の集まるマルシェ(仮称)の開催時

●憩い・子育てエリアのイメージ

- ・子育て世代を中心に、幅広い年代の人が集い憩う場所
- ・広場とそれに対応した子育て等のイベント実施



親子の遊び場



芝生広場のピクニック利用

●交流・学びエリアのイメージ

- ・交流・学習・文化ゾーンとの一体的な利用
- ・レストランや地域の魅力発信も含めたゆとりある空間



交流関係の屋外活動の場



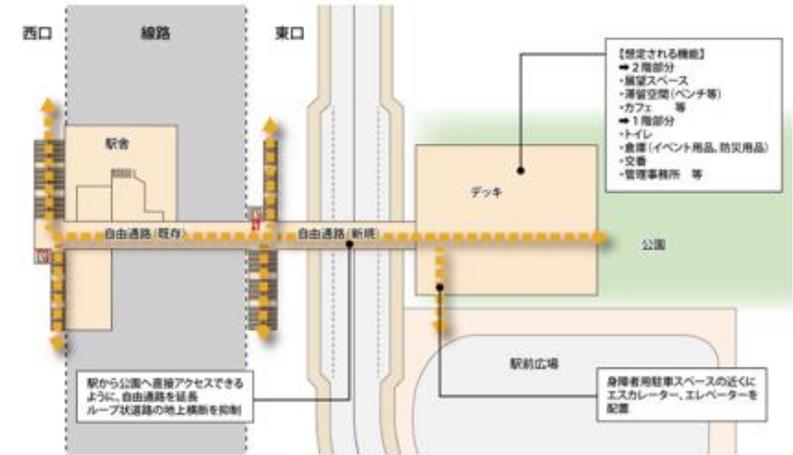
開業前後に利用できる「カフェ」や「対話」

古賀駅東口 整備基本計画 駅前広場 自由通路 駐輪場

3. 駅前広場（自由通路・駐輪場）

自由通路の機能強化

新設するループ状道路を地上横断せず、直接公園にアプローチするために、自由通路を延長します。また、延長した自由通路において車口の顔となる滞在空間の創出を目指します。自由通路にはエスカレーター、エレベーターを新設し、東西のアクセス性を高めます。



自由通路上のカフェと滞在空間



自由通路下の利活用
(トイレ、交番)



自由通路と一体となった眺望を
活かしたカフェ



立体的なデッキ空間



ベンチとして使える階段空間と
階段下のカフェ



公園を見下ろすデッキ空間

古賀駅東口 市民ワークショップ

「こがの未来の話をしよう」

古賀駅東口の居心地の良い空間づくりに向けた市民ワークショップ(全2回)

第1回 7/3 (日)
第2回 9/4 (日)
事前申込必要

これから大きく変わる古賀駅東口

駅とリーバスプラザをつなぐ公園を中心とした空間

そこが居心地の良い場所になるために

「こういうものがあつたらいいな」や

「こんなことをして過ごしたい」、「こんな活動をしたい」など

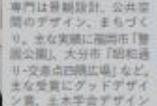
みんなのアイデアを形にしてみませんか



全体ファシリテーター



柴田 久正
(福岡大学教授)



星野 裕可氏
(熊本大学准教授)

専門は景観設計、公共空間のデザイン、まちづくり。主な実績に福岡市「響屋公園」、大分市「昭和通り-文楽広場」など。主な受賞にグッドデザイン賞、日本学会デザイン賞、筑波まちづくり大賞など。

専門は景観デザイン、まちづくりに関する研究および事業支援。主な実績に伊佐市「響本の湯分水路」、熊本県「熊本駅周辺地域都市空間デザイン」など。主な受賞にグッドデザイン・デザイン賞、日本学会デザイン賞、熊本大学賞など。

<ワークショップの趣旨>
古賀駅東口では、「JR 古賀駅東口周辺地区整備基本計画」等を策定し、「歩きたくて暮らしたくなる 居心地の良いまちづくり」をコンセプトに整備の検討を進めています。今回、計画を具体化するために「JR 古賀駅東口周辺地区まちづくりガイドライン」の作成を進めており、市民の皆さんの意見を反映するためのワークショップを開催します。当日はグループにわかれ、公園を中心としたエリアを居心地の良い空間にするために、必要なもの等について話し合う予定です。

日時: 第1回 2022年7月3日(日) 10:00~12:00
第2回 2022年9月4日(日) 10:00~12:00
場所: リーバスプラザこが 交流館2階 多目的ホール (古賀市中央2丁目13-1)
対象者: 古賀市に在住・在勤・在学などの方
定員: 40名程度
参加費: 無料
申込: 裏面申込用紙 又は 以下の申込フォームより
【申込フォーム】 <https://forms.gle/F8EHwArdSpKbZhr7>
【申込期限】 2022年6月22日(水)



※申込には性別・年齢等の基本情報と合わせて、ご意見等を記載して頂きます。応募者多数の場合は記入意見や参加者属性を考慮し参加者を選定させていただきます。
※開催にあたり、対策を講じ新型コロナウイルス感染防止に努めます。参加者の方へもマスク着用・消毒等のご協力をお願いします。当日に発熱・体調不良の方に対し参加をお断りする場合があります。ご了承ください。

主催：古賀市 問合せ先：企画運営受託者 林都市環境研究所九州事務所 (092-263-7848 池田・手島)

「こがの未来の話をしよう」
古賀駅東口の居心地の良い空間づくりに向けた市民ワークショップ

<参加申込用紙>

【申込対象者は市内在住・在勤・在学等に限ります。また、原則全2回(7/3,9/4)の参加が前提となります】

お名前		性別	男・女
古賀市との関わり (当てはまるものに○)	・市内在住 市内在勤、市内在学を選んだ方は 通勤・通学先をご記入下さい	・市内在勤 [・市内在学] ・その他()
年齢 (当てはまるものに○)	・10代以下 ・60代	・20代 ・70代	・30代 ・80代以上 ・40代 ・50代
ご住所	〒		
ご連絡先	電話番号:	メール:	
職業 (当てはまるものに○)	・会社員 ・学生 ・その他()	・公務員 ・アルバイト/パート	・自営業/個人事業 ・無職(定年含む)
	・公園 ・福祉施設(子育て施設、医療施設など) ・その他()	・駐輪場 ・公共施設(図書館など) ・商業施設(買い物、飲食など) ・コミュニティ施設	
↓ 2つを選択された理由やその施設に対する意見・要望等をご記入ください 【1つ目の選択について】			
<p>駅前の空間であつたらいいな と考えるもの (当てはまるものに2つ ○をし、意見を記入)</p> <p>【2つ目の選択について】</p>			

※応募者多数の場合は記入意見や参加者属性を考慮し参加者を選定させていただきますこと、ご了承ください。
※申込結果は記載頂いたメールアドレス又は電話番号宛にご連絡します。
※記載頂いた情報の取扱いには十分に注意し、目的外の使用はいたしません。

【提出先】 郵送又は窓口にてお申込みください。※QRコードからも申込できます(表面参照)	【申込期限】
郵送: 〒811-3192 福岡県古賀市駅東1丁目1-1 古賀市都市整備課 古賀駅周辺開発推進室	2022年6月22日(水) ※必着
窓口: 古賀市役所第2庁舎3階 都市整備課 古賀駅周辺開発推進室まで	

古賀駅東口、西口並びに千鳥駅に関する予算

予算項目	予算額
古賀駅周辺 整備事業費	1億366万9千円 (内訳) 古賀駅東口周辺基盤整備予備設計委託 7005万6千円 古賀駅西口駅前広場整備検討委託 2025万7千円
古賀駅西口 エリア マネジメント 支援事業	6820万円 (内訳) エリアマネジメント支援委託 1485万円 拠点形成事業補助金 4818万円 空き店舗改修補助金 500万円
古賀駅西口 予算の累計	9460万円 (債務負担行為、拠点形成補助、空き店舗改修補助)
千鳥駅 周辺整備事業	1億4093万円 (令和3年度繰越予算を含む)